

なつやすみの美術館 16
もしも“美術”がなかったら
2026年7月11日(土)～9月27日(日)



①日野田崇《新しい家族》2023(令和5) 和歌山県立近代美術館蔵 写真：福永一夫

展覧会鑑賞ワークシート配布 2026年7月17日(金)頃から

「なつやすみの美術館」展では毎年、「和歌山美術館教育研究会」に参加する学校教員や美術館教育に関心を持つ有志たちと作成した展覧会鑑賞ワークシートを配布しています。近隣の学校では夏季休暇中の宿題として活用されていますが、どなたでも会場で手に取って使っていただけます。

展覧会内容とあわせて、和歌山県の美術館教育・教育連携の視点からも、ご取材、ご紹介をお願いします。

お問い合わせ先

和歌山県立近代美術館

学芸担当：青木加苗

広報担当：村井

〒640-8137 和歌山県和歌山市吹上1-4-14

T E L : 073-436-8690

F A X : 073-436-1337

E-MAIL : press@momaw.jp

W E B : <https://www.momaw.jp>



WEB



Facebook



X



Instagram

なつやすみの美術館 16 もしも“美術”がなかったら

もしも“美術”がなかったら——

たとえば、絵や彫刻などが無いということ？

たとえば、“美術”という科目が学校からなくなるということ？

たとえば、みんなで“美術”を楽しむ美術館が存在しないということ？

こどもも大人も一緒に楽しめる「なつやすみの美術館」は、さまざまな視点から美術との新たな関わりを結んでいただく機会として、2011年より継続して開催しています。16回目の今回は「もしも“美術”がなかったら」という問いをきっかけに、私たちにとっての美術と美術館の関係について、みなさんと考えてみたいと思います。

美術館は、その名の通り、“美術”の館です。私たちが美術を見て、楽しんで、そして学ぶために作られた、身近だけれども特別な場所です。美術館に集められている作品のなかには、額に入った絵画や台座に載った彫刻だけでなく、バラエティ豊かなものがありますが、この「館」に展示されることで、私たちはそれらを美術作品として捉えるところから出発します。

しかし一度立ち止まってみると、美術作品も、ひとつのモノ。色やかたちがあり、美しかったり、あるいは堂々としていたりしますが、そういったものは美術作品以外にもたくさんあります。では、私たちが“美術”と呼ぶものの正体は、一体なんなのでしょうか。もしも“美術”がなかったら、きっとその存在がなくなってしまう“美術”の館で、“美術作品”を通して考えることはできるでしょうか。みなさんの答えを探しに来てください。学校の先生たちと一緒に作っているワークシートも準備して、なつやすみの“美術”館でお待ちしています。



②大西伸明《totan》2014（平成 26）
和歌山県立近代美術館蔵 写真：豊浦英明

開催概要

展覧会名	なつやすみの美術館 16 もしも“美術”がなかったら
主催	和歌山県立近代美術館
会場	和歌山県立近代美術館 2階展示室
会期	2026年7月11日（土）～9月27日（日）
開館時間	9時30分～17時（入場は16時30分まで）
休館日	月曜日（祝休日の7月20日、9月21日は開館）、7月21日（火）、9月24日（木）
観覧料	一般 600（480）円、大学生 330（290）円 *（ ）内は20名以上の団体料金 *高校生以下、65歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方は無料 *7月25日、8月22日、9月26日（毎月第4土曜日）は、「紀陽文化財団の日」として大学生無料 *8月2日、9月6日（毎月第1日曜日）は無料観覧日 *同時期に開催の「下村観山展」チケットで本展観覧可能 *本展観覧料で、MOMAW コレクション「絵画と彫刻」「版画と美術散歩」も観覧可能

主な出品作品

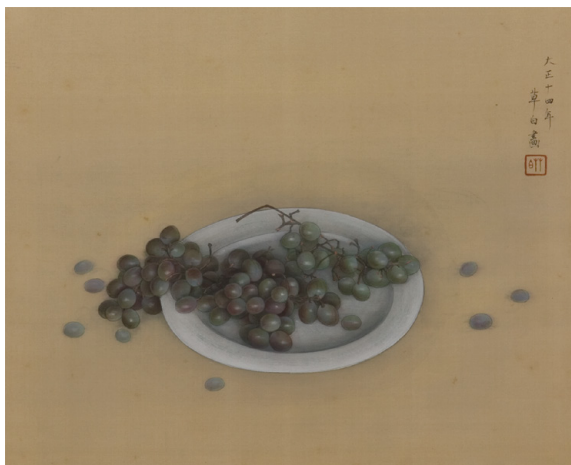
掲載用画像については広報担当にお問合わせください。
文字のせ、トリミング等にご遠慮ください。



③下村清時《亀置物》制作年不詳 和歌山県立近代美術館蔵



④作者不詳（宗太郎）《[白浜風景]》制作年不詳 和歌山県立近代美術館蔵



⑥伊藤草白《葡萄之図》1925（大正 14） 和歌山県立近代美術館蔵



⑧小柳裕《A View with the Steelworks》2014（平成 26） 和歌山県立近代美術館蔵



⑤岸田劉生《黒き帽子の自画像》1914（大正 3）個人蔵



⑦建畠大夢《ほたる》1923（大正 12）
和歌山県立近代美術館蔵



⑨佐藤時啓《Shirakami #2》2008（平成 20）
和歌山県立近代美術館蔵

関連事業

▶ ギャラリートーク(担当学芸員がお話しします) *要観覧券

日 時: 7月19日(日)、8月23日(日)、9月12日(土) 各日14時～ 1時間程度

場 所: 和歌山県立近代美術館 2階展示室

▶ たまごせんせいとわくわくアートツアー(和歌山大学美術館部による鑑賞ガイド) *要観覧券

日 時: 8月12日(水)～16日(日)

各日11時～、13時30分～、15時～
45分～1時間程度

場 所: 和歌山県立近代美術館 2階展示室

▶ こども美術館部(小学生を対象とした作品鑑賞会)

日 時: 9月5日(土)、6日(日)*予定、両日同内容

各日11時～ 1時間程度

場 所: 和歌山県立近代美術館 2階展示室

定 員: 各日先着6人程度

*要申込、8月22日(土)9時30分より

当館ウェブサイトにて受付開始

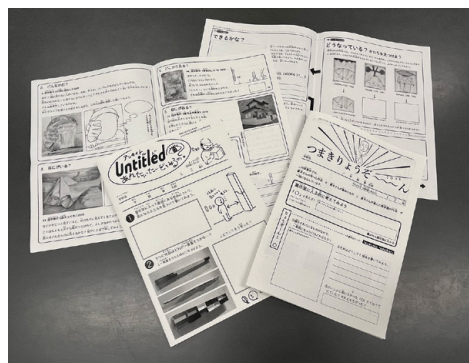
テーマ: ここはキンダイカン?



昨年度のたまごせんせいとわくわくアートツアー

ワークシート

「なつやすみの美術館」展では毎年、「和歌山美術館教育研究会」に参加する学校教員や美術館教育に関心を持つ有志たちと作成した展覧会鑑賞ワークシートを配布しています。近隣の学校では夏季休暇中の宿題として活用されていますが、どなたでも会場で手に取って使っていただけます。配布の開始は7月17日(金)頃を予定しています。(展覧会開会当初は配布していませんのでご注意ください。)



過去のワークシート

同時期に開催の展覧会

▶ 下村観山展

～7月20日(月・祝)

▶ MOMAW コレクション「絵画と彫刻」「版画と美術散歩」

第1期: 8月4日(火)～9月6日(日)

第2期: 9月12日(土)～10月18日(日)

▶ 県立博物館(とたり)の展覧会

特別展 蘆雪生動 一南紀 無量寺への旅—

8月11日(火・祝)～9月23日(水・祝)